

岸和田市平和教育プログラム

学年段階	目標	教科等での学習活動例	学習のキーワード
小学校 1～3年	平和の大切さに気づく 人権の視点に立ち、日常生活の中で、身近な命の尊さや平和の尊さに触れ、思いやりの心を育む。戦争等で傷ついた人がいることを知る。 <u>身近な平和に気づき、自分も相手も大切にする。</u>	国語： 平和に関する絵本の読み聞かせと感想の共有。 生活： 地域のお年寄りとの昔の遊び交流会。遊びや交流を通して人と人とのつながりを学ぶ。 図画工作： 「わたしの大切なもの」をテーマに絵を描き、身近なものを大切にすることが平和を築く第一歩であることを学ぶ。 特別活動： 平和学習のDVD等視聴を行い、戦争の恐ろしさや平和の尊さにふれる。 道徳： 「友情や信頼」をテーマに互いを認め合い、助け合うことの大切さを育む。	平和にふれる
	<授業構成> 気付く → 考える → ペア・グループで伝え合う		
小学校 4～6年	平和について歴史的な視点から考える 戦時中のくらしや戦争の出来事を主体的に学び、考え始める。日本の過去や現在についての知識をもとに、平和の大切さについて自分なりの考えを持つ。 <u>人々の生活や日本の歴史・伝統を知り、平和について考える。</u>	国語： 戦争と平和に関する物語文の学習を通して、平和の大切さについて考える。 社会： 戦時中のくらしや歴史上の主な事象について調べる。 理科： 自然体験活動等、環境保全について調べ、主体的に活動する。 総合的な学習の時間： ピースネットによる被爆体験講話を聞き、核兵器の恐ろしさについて考える。 特別活動： ボランティア活動等、平和のため主体的に活動する。 道徳： 「相互理解、寛容」をテーマに、互いの考えや意見を交流し、異なる意見や立場を尊重する。	平和を考える
	<授業構成> 知る → 思考する → グループ・学級で話し合う → 発表する		
中学校	平和について国際的な視点から考える 現在の日本や世界の出来事、核兵器等、国内外の平和問題に関心を広げ、未来の日本について考え、理解を深める。 <u>日本から視点を広げて、世界の中で、平和についての理解を深める。</u>	国語： 戦争と平和に関する物語文の学習を通して、自分の生き方や社会のあり方について考え、話し合う。 社会： 異文化理解の交流や、世界の紛争・貧困問題についての模擬国際会議。 英語： 海外の平和に関する記事を読み解き、英語で平和メッセージをまとめ、発表する。 技術・家庭： 食料問題や環境問題と平和との関連性を学ぶ。持続可能な社会づくりが平和に貢献することを理解する。 道徳： 「公正、公平」や「国際理解、国際貢献」をテーマに、平和な社会を築くための倫理観を養う。 総合的な学習の時間： 平和集会を行い、修学旅行等での体験学習や調べ学習についての報告を行い、平和について考えたことを発信する。	平和を深める
	<授業構成> 思考・探究する → 情報を整理する → 学級・学年で話し合う → 発信する		
高等学校	未来の平和のために主体的に行動する 平和構築のため、平和への思いを深め、自分たちができることを考え、より良い社会の実現をめざし、主権者として行動する。 <u>平和な未来をつくるために、自分たちにできることを考える。</u>	国語： 平和に関する文学作品を深く読み解き、作者の思想や時代背景を考察。 地理歴史： 歴史から学び、平和学習論文を作成・発表。 公民： 平和主義の理念や国際社会における日本の役割について議論する。 総合的な探究の時間： 海外の高校生とのオンライン交流や、地域ボランティアの企画・実行を通して、主体的に社会貢献する。	平和に向けて行動する
	<授業構成> 思考・探究する → 情報を整理する → 学級・学年・学校で話し合う → 社会に発信する		